



鹿児島国際大学  
THE INTERNATIONAL UNIVERSITY OF KAGOSHIMA



鹿児島県信用保証協会  
KAGOSHIMA GUARANTEE

# 学生たちの軌跡

連携事業の概要について



令和3年1月22日（金）鹿児島県信用保証協会 総務部 企画情報課

# 学生たちの軌跡～連携事業の概要～

1. 担当教員・職員・学生紹介
2. 事業目的
3. 事業日程
4. 事業概要
5. 事業活動実績



## 学生たちの軌跡～連携事業の概要～

# 1. 担当教員・職員・学生紹介

2. 事業目的
3. 事業日程
4. 事業概要
5. 事業活動実績





**櫛部 幸子 (クシベ サチコ)**

経済学部

准教授

財務会計, 中小企業会計, 国際会計

兵庫県



**野口 圭介 (ノグチ ケイスケ)**

総務部 企画情報課

考査役

中小企業診断士

長崎県





鹿兒島国際大学  
THE INTERNATIONAL UNIVERSITY OF KAGOSHIMA

経済学部 櫛部ゼミ 20名

赤崎 良平	秋田 晴香	稲付 早希	迫屋 駿輔	安楽 莉奈
上原 晴絵	川原 真由	畠山 翔太郎	福田 有花	大町田 実佳
宮園 仁志	小川 礼華	片之坂 海知	関 聡磨	日高 裕星
小浜 桃乃	迫田 隆志	東郷 光希	山下 大輝	江藤 百恵



# 学生たちの軌跡～連携事業の概要～

1. 担当教員・職員紹介

## 2. 事業目的

3. 事業日程

4. 事業概要

5. 事業活動実績



## 2. 事業目的

平成30年度の法改正により、信用保証協会の業務に「中小企業者に対する経営支援の改善・発達に関わる助言その他の支援」が追加されたことから、**鹿兒島県信用保証協会（以下、協会という）は、信用保証業務の枠組みを超えた取り組みを行うことで、地域経済の成長発展に対し、これまで以上の貢献を求められることとなった。**

一方、**鹿兒島国際大学（以下、大学という）は、**COC認定校として「フィールドワークをベースとした地域が求める人材育成プログラム」を推進・実施しており、**地域を志向し、地域の課題解決のために必要とされる人材の育成プログラムを実践している。**

そこで、今回**大学が協会をフィールドワークの場として活用し、**大学生が協会とは異なる視座から協会の業務内容などの内部環境や、協会を取り巻く外部環境等を調査・分析したうえ、**協会が実施すべき地域貢献策を提言するプログラムを実施した。**

このプログラムの実施により、**協会は変革期にある業務運営の改善に役立るとともに、大学は鹿兒島に必要な人材の育成を更に推進することとした。**

ひいては、双方が連携・協力して本プログラムに取り組むことで、**鹿兒島の地方創生に資することを共通の目的とする。**



## 学生たちの軌跡～連携事業の概要～

1. 担当教員・職員・学生紹介

2. 事業目的

### **3. 事業日程**

4. 事業概要

5. 事業活動実績





### 3. 事業日程

リスケジュール	日時	内容
オリエンテーション	1 R 1.10.7 (月)	(協会挨拶・大学挨拶・学生挨拶、テーマ発表、業務概要の説明、職場案内)
	2 R 1.11.11 (月)	経営理念・経営計画並びに提言策定フローの説明/プレミーティング
第2フェーズ フィールドワーク (調査)	3 R 1.12.9 (月)	保証部職員の業務内容説明
	4 R 2.1.6 (月)	保証部職員へのヒアリング (事前質問制)
	5 R 2.6.8 (月)	経営支援部職員の業務内容説明
	6 R 2.7.13 (月) オンライン開催	経営支援部職員へのヒアリング (事前質問制)
	7 R 2.10.5 (月) オンライン開催	経営支援部職員へのヒアリング (事前質問制)
	8 R 2.10.26 (月)	管理部・総務部職員へのヒアリング (事前質問制)
第3フェーズ フィールドワーク (分析)	9 R 2.11.2 (月)	協働によるフレームワークを用いた調査結果の整理 (SWOT分析等) 【企画情報課】
	10 R 2.11.26 (木)	協働によるフレームワークを用いた分析・事業ドメインの決定 (クロスSWOT分析) 【企画情報課】
	11 R 2.12.17 (木)	協働による経営課題の抽出・具体的提言内容の検討 【企画情報課】
追加ワーク	12 R 2.12.21 (月)	協働による提言資料確認・プレゼン練習 【企画情報課】
追加ワーク	13 R 3.1.12 (月)	協働による提言資料確認・プレゼン練習 【企画情報課】
第4フェーズ プレゼンテーション	14 R 3.1.22 (金)	学生提言プレゼンテーション/協会講評

**プログラムは4部構成にて実施**

財務分析  
・安全性  
・収益性  
外部環境調査

## 第1フェーズ オリエンテーション

回次		日時	内容
第1フェーズ オリエン テーション	1	R 1.10.7 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協会挨拶</li> <li>・ 大学挨拶</li> <li>・ 学生挨拶</li> <li>・ テーマ発表</li> <li>・ 業務概要の説明</li> <li>・ 職場案内)</li> </ul>
	2	R 1.11.11 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営理念</li> <li>・ 経営計画並びに 提言策定フローの説明</li> <li>・ プレミーティング</li> </ul>



## 第2フェーズ フィールドワーク（調査）

回次	日時	内容		
第2フェーズ フィールドワーク (調査)	3 R 1.12.9 (月)	<b>保証部</b> 職員 業務内容説明	財務分析 ・安全性 ・収益性 ・生産性 ・成長性等	外部環境 調査
	4 R 2.1.6 (月)	<b>保証部</b> 職員 ヒアリング		
	5 R 2.6.8 (月)	<b>経営支援部</b> 職員 業務内容説明		
	6 R 2.7.13 (月) <b>オンライン</b>	<b>経営支援部</b> 職員 ヒアリング		
	7 R 2.10.5 (月) <b>オンライン</b>	<b>管理部・総務部</b> 職員 業務内容説明		
	8 R 2.10.26 (月)	<b>管理部・総務部</b> 職員 ヒアリング		

## 第3フェーズ フィールドワーク（分析）

回次	日時	内容
第3フェーズ フィールドワーク （分析）	9 R 2.11.2 （月）	協働によるフレームワークを用いた 調査結果の整理 （SWOT分析等）
	10 R 2.11.26 （木）	協働によるフレームワークを用いた 分析・事業ドメインの決定 （クロスSWOT分析）
	11 R 2.12.17 （木）	協働による経営課題の抽出・具体的提言内 容の検討
追加ワーク	12 R 2.12.21 （月）	協働による提言資料確認・プレゼン演習
追加ワーク	13 R 3.1.12 （月）	協働による提言資料確認・プレゼン練習



## 第4フェーズ プレゼンテーション

回次	日時	内容
14	R3.1.22 (金)	学生提言プレゼンテーション 協会講評



?



そもそも、国際大学と  
保証協会の接点って？  
なぜ、両社が連携して、  
取り組むことになった  
の？



きっかけは、

平成30年6月25日、鹿児島国際大学産学官連携推進センターと中小企業会計を専門とされる経済学部櫛部准教授のご尽力により、

鹿児島県信用保証協会として初となる出張講義

「中小企業を支える信用保証と創業支援」の開催が実現したこと。



以降、この出張講義は、櫛部准教授が担当する授業の中で、現在まで年1回継続して実施しています。

2回目となった昨年のお出張講義終了時、櫛部准教授より提案がありました。



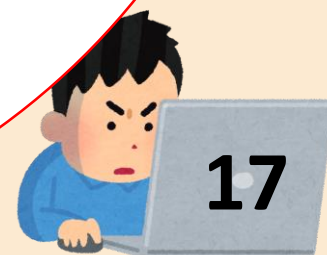


野口さん！

今度、うちのゼミの子どもたちに社会経験を積ませたいと思っていますのですが、

保証協会さんのほうで、ゼミ生を受け入れていただくことは可能でしょうか？

ゼミの子達は会計に興味がある子達ばかりだから、保証協会さんに受け入れていただくことができれば、とても勉強になると思うんです。



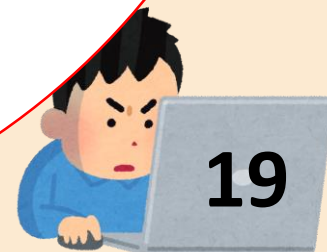
良いご提案をありがとうございます。  
でも、当協会は、これまでインターンも実施したことがなく、学生さんたちの受け入れがうまくいくかどうか正直自信がありません。それと、最近の流れとしては、連携協定の締結も必要なると思われます。  
先生もお忙しいでしょうし、大変な事業になると思います。




私は、中小企業会計の研究で、以前、鹿児島県の保証協会さんにもお邪魔したことあるんです。


ですから、保証協会さんに関する知識はある程度持ってますし、学生のサポートができると思います。

ゼミの子達に良い経験を積ませたいのですが、いかがでしょうか？





了解しました！面白いと思います！  
持ち帰り検討しますね！  
やるからにはしっかりやりたいですね！  
連携・協力して進めましょう！



ご検討のほど、  
よろしくおねがいします。

な～るほどね！  
そゆことね！  
確かに  
「会計を勉強する学生」  
と  
「信用保証を業とする保証協会」  
って、マッチしてるよね！



## 学生たちの軌跡～連携事業の概要～

1. 担当教員・職員・学生紹介
2. 事業目的
3. 事業日程

## 4. 事業概要

5. 事業活動実績



## 経営理念・ビジョン・経営戦略・経営課題

当協会は、信用保証を通じ中小企業の繁栄に奉仕し、地域経済の成長発展に貢献する組織と人間の場である。



**経営理念**

地域経済の成長発展に貢献するための信用保証協会の姿とは？

**あるべき姿  
経営ビジョン**

**採るべき道筋  
経営戦略**

どうやって克服するの？

**経営課題**

どんな障害物があるの？

**現状の姿**

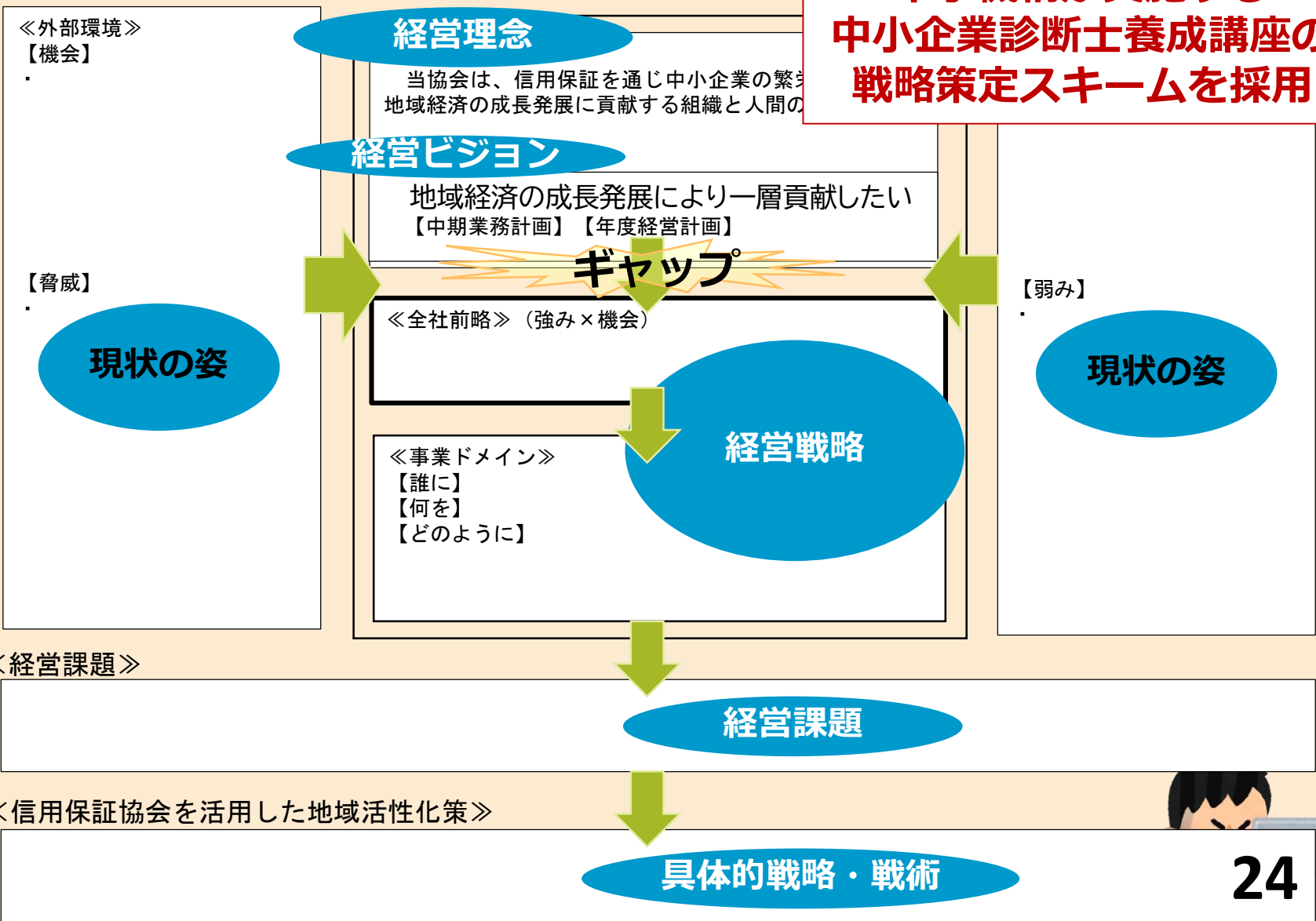
地域経済に貢献していない？

**← 学生が調査研究**



## 最終報告サマリーシート

**中小機構が実施する  
中小企業診断士養成講座の  
戦略策定スキームを採用**

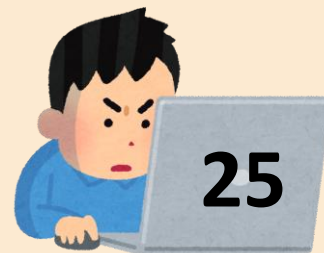




## 学生たちの軌跡～連携事業の概要～

1. 担当教員・職員紹介・学生紹介
2. 事業目的
3. 事業日程
4. 事業概要

## 5. 事業活動実績



## 第1フェーズ オリエンテーション

回次		日時	内容
第1フェーズ オリエン テーション	1	R 1.10.7 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協会挨拶</li> <li>・ 大学挨拶</li> <li>・ 学生挨拶</li> <li>・ テーマ発表</li> <li>・ 業務概要の説明</li> <li>・ 職場案内)</li> </ul>
	2	R 1.11.11 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営理念</li> <li>・ 経営計画並びに 提言策定フローの説明</li> <li>・ プレミーティング</li> </ul>



## オリエンテーション 令和元年10月7日、11月11日



- 鹿児島国際大学 中山慎吾 副学長 挨拶
- 鹿児島国際大学 経済学部 櫛部ゼミ 迫田隆志 さん 挨拶
- 鹿児島県信用保証協会 本坊信幸 常務理事 挨拶





- 鹿兒島国際大学 経済学部 櫛部幸子 准教授 挨拶
- 職場見学 挨拶
- 事業内容の説明





**この16か月間、計13回、  
当協会まで約1時間の道のりを  
毎回バスでお越しいただきました！**



## 第2フェーズ フィールドワーク（調査）

回次	日時	内容			
第2フェーズ フィールドワーク (調査)	3	R 1.12.9 (月)	<b>保証部</b> 職員 業務内容説明	財務分析 ・安全性 ・収益性 ・生産性 ・成長性等	外部環境 調査
	4	R 2.1.6 (月)	<b>保証部</b> 職員 ヒアリング		
	5	R 2.6.8 (月)	<b>経営支援部</b> 職員 業務内容説明		
	6	R 2.7.13 (月) <b>オンライン</b>	<b>経営支援部</b> 職員 ヒアリング		
	7	R 2.10.5 (月) <b>オンライン</b>	<b>管理部・総務部</b> 職員 業務内容説明		
	8	R 2.10.26 (月)	<b>管理部・総務部</b> 職員 ヒアリング		

※緑色の表示はコロナ禍にあってリスケジュールを強いられたワーク



Before□□ナ

## 調査

## 保証部業務

令和元年 12月9日

令和2年 1月6日





## Withコロナ



- ・ 複数回のリスケジュール
- ・ 2度のオンライン開催
- ・ 感染症対策を講じた会場開催

苦難続きの中、事業は続行しました。





調査  
経営支援部業務  
令和2年6月8日  
令和2年7月13日

調査  
管理部・総務部業務  
令和2年10月5日  
令和2年10月26日



## 外部環境調査





## 外部環境調査



## 第3フェーズ フィールドワーク（分析）

コロナ禍の中断期間も含め、10か月に及んだ調査期間を経て、事業はいよいよ分析・提案策定フェーズに突入しました。 **しかし・・・**

回次		日時	内容
第3フェーズ フィールドワーク (分析)	9	R2.11.2 (月)	協働によるフレームワークを用いた 調査結果の整理 (SWOT分析等)
	10	R2.11.26 (木)	協働によるフレームワークを用いた 分析・事業ドメインの決定 (クロスSWOT分析)
	11	R2.12.17 (木)	協働による経営課題の抽出・具体的提言内容の検討
追加ワーク	12	R2.12.21 (月)	協働による提言資料確認・プレゼン演習
追加ワーク	13	R3.1.12 (月)	協働による提言資料確認・プレゼン練習

※緑色の表示はコロナ禍にあってリスケジュールを強いられたワーク



「模造紙」と  
「ポストイット」を  
用いて実施した

**調査結果の**

➡「整理」

➡「分析」

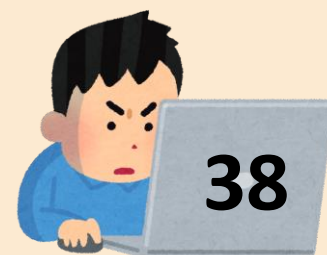
➡「提言」

への落とし込み作業は、  
なかなかうまくいかず、





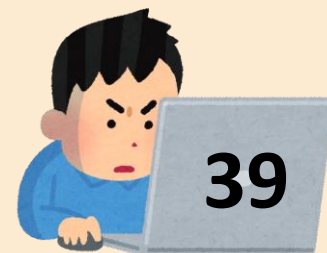
時間だけが  
過ぎていきました・・・

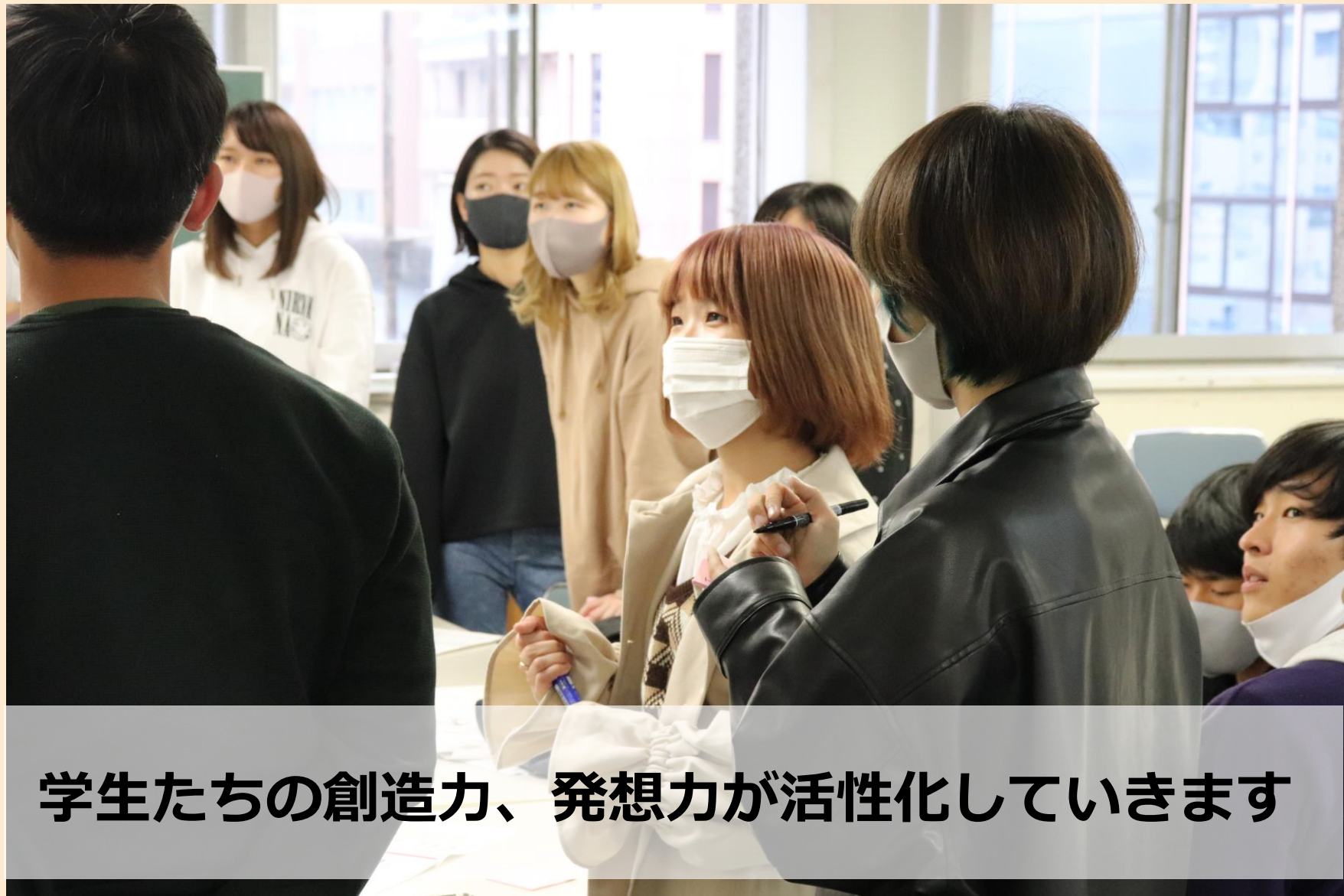


### 転機は、プレゼン発表会の開催と概要が決定したこと！！



コロナ禍にあって、  
最終回の開催も  
危ぶまれる中での  
事業の継続は、  
学生たちの  
モチベーションを  
下げていました。  
具体的な日程が  
決定したことで・・・





**学生たちの創造力、発想力が活性化していきます**



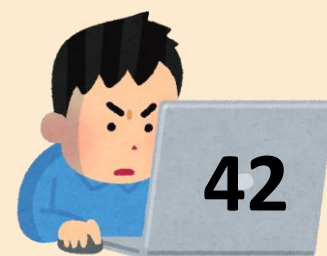




**学生たちの目の色が変わり、  
チームとしての連携力も  
より強くなっていきました。**



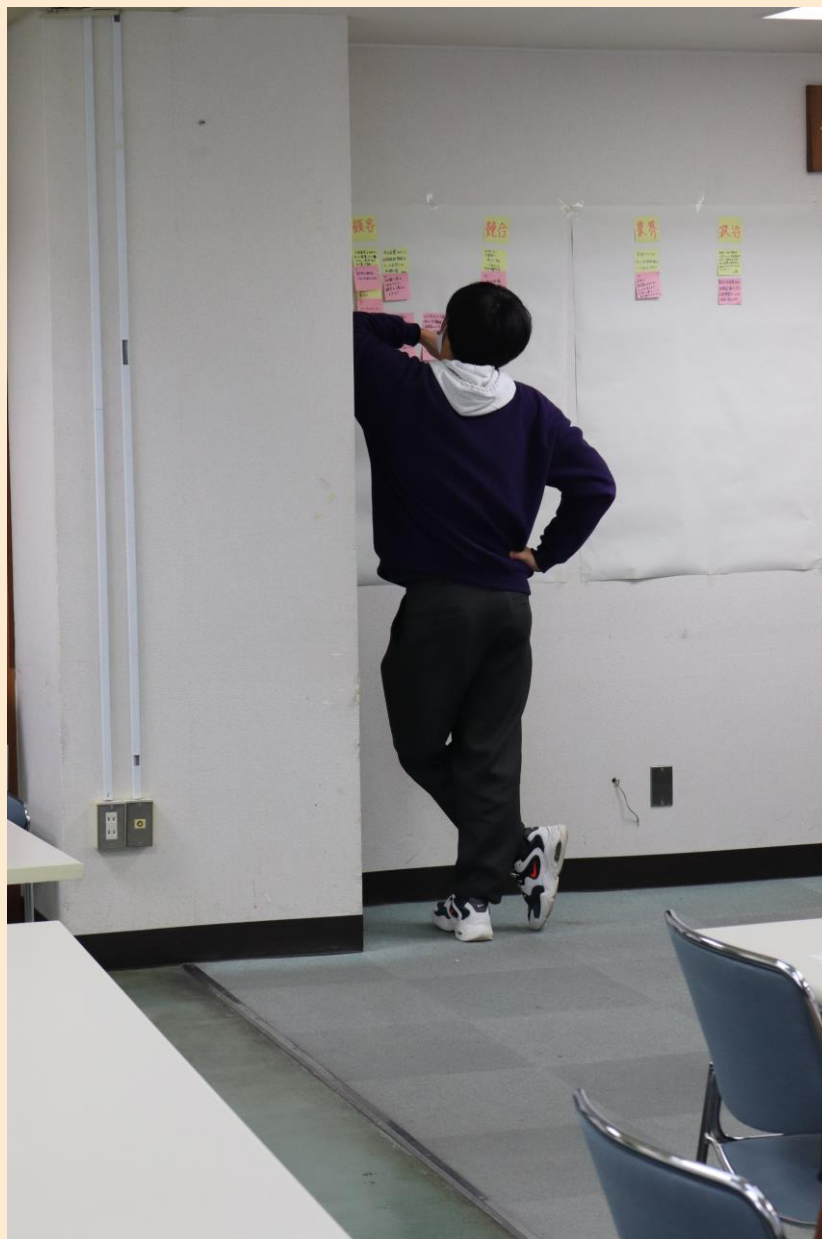
**担当教員も  
担当職員も  
彼らの発想力や  
創造力に  
寄り添います。**



# 5. 事業活動一第3フェーズ



**【注】 ふざけてません、  
考え込んでいます  
(;・`д・´)**



**【注】彼女とLINEしている訳ではありません (^▽^)/**



**次第に、自分たちだけで考えるようになりました(∩▽∩)**

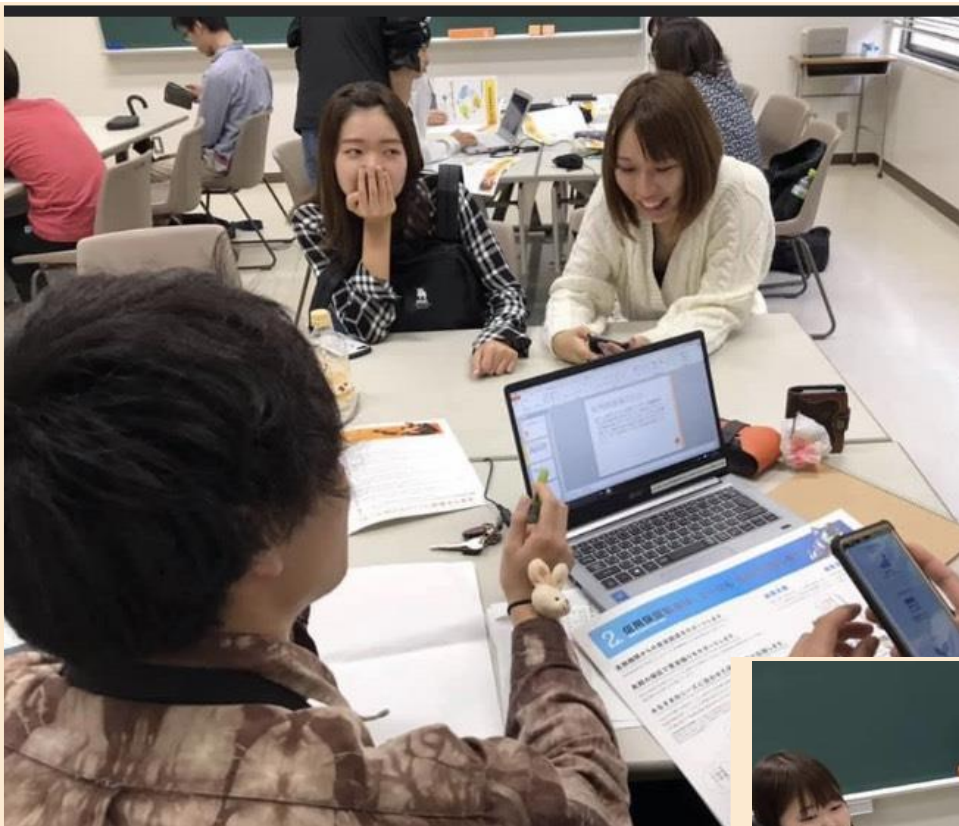


**分析・戦略策定作業は、  
空き時間も利用、**

**大学内カフェテ  
ラスなど、様々  
な場所で作業は  
行われました。**







**プレゼン発表資料は、  
ゼミの時間等を用いて  
製作しました！**





写真に残る  
学生たちの笑顔が、



**櫛部先生との  
関係性の良さを  
物語っています。**



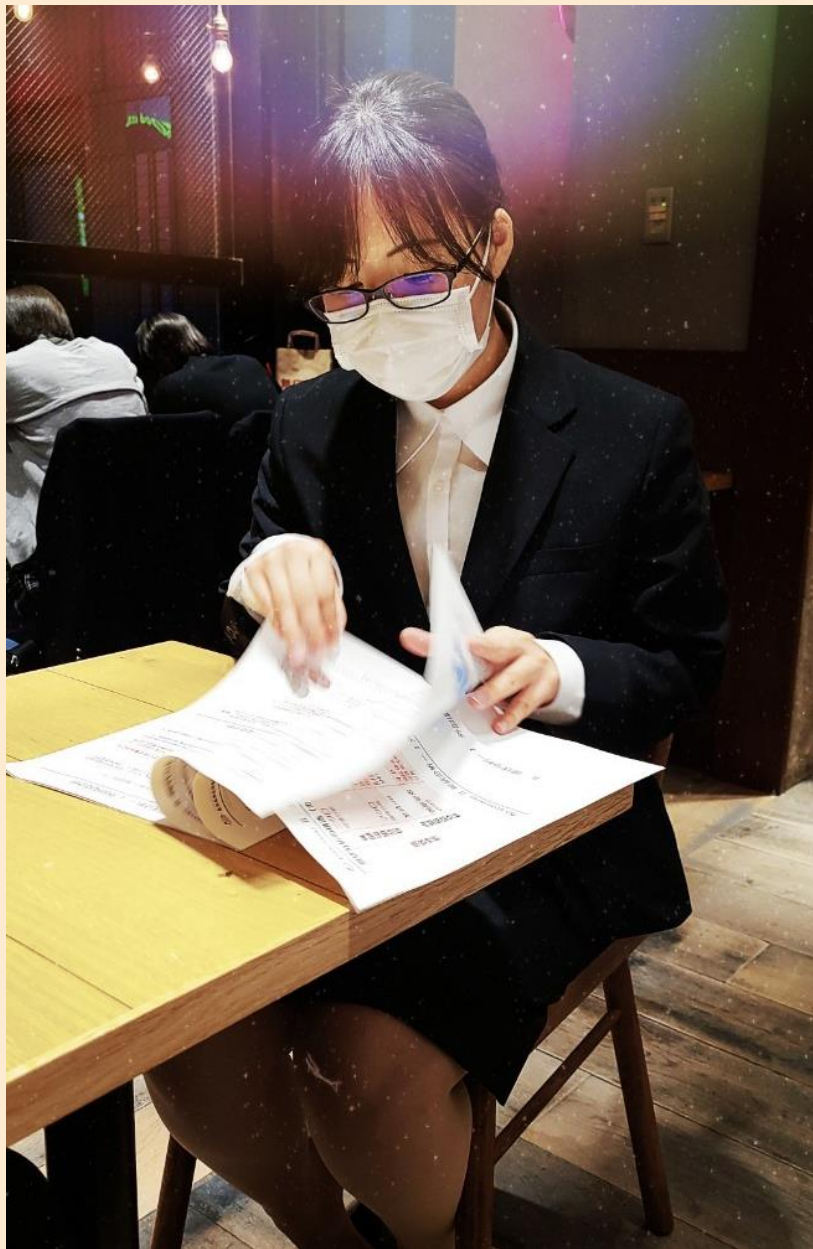


そして、  
プログラムは最終段階、  
プレゼン演習へ移行



**担当教員  
担当職員の  
指導にも熱が  
入ります！**

就活のあいまを縫って、  
プレゼン演習を行う学生も！





そして、学生たちは、  
今日という日を迎えます！



# 鹿児島国際大学 経済学部

櫛部ゼミの皆様・・・



舞台は整いました！

それでは、

思い切って

やっちやっってください！

